

実際に活用できるアクティブ・ラーニング
 手法紹介セミナーシリーズ(第5回)

ループブリック どう使う？

ーループブリック活用と「評価」について考えるー

【概要】

ループブリックを「活用」するって、どういうことだろう？

「アクティブ・ラーニングに使える」と噂のループブリックですが、結局、どうやって使えばよいかいまいちわからない……。とりあえず使ってみたけれど、いまいち効果がよくわからない……。そういう感想をお持ちの方も多いのではないかと思います。ループブリックを有効に活用するためには、授業における「評価」がそもそもどうあるべきかについて、授業の目的・目標や授業方法とあわせて、あらためてじっくり考える必要があります。つまり、ループブリックについて考えることは、授業そのものを見直すプロセスの一部でもあります。

今回のセミナーでは、「基礎ゼミナール」等におけるループブリック活用の実践例を紹介するとともに、ループブリックと「評価」について考えます。講師からの「一方的講演」だけではなく、各々の教育の場に立つ参加者のみなさまによる「授業における事例や疑問・悩みの共有」を経て、「ループブリックを通じた自身の授業改善」について考える場にしたいと考えています。

講師
 大学教育センター
 近藤 伸彦
 准教授

2018年
 3/19(月)
 14:40～
 16:10
 開催

会場
 南大沢
 キャンパス
 6号館402

【講師経歴】

大阪大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。大手前大学現代社会学部助教、同大学CELL教育研究所研究員、同大学教学運営室室員を経て、2016年10月より現職。博士(情報科学)。これまで初年次教育・リメディアル教育や教学企画運営全般を担当し、現在は主に教学IR(Institutional Research)やラーニングアナリティクスの実務および研究に従事。機械学習や数理モデルを活用し、データに基づく広い意味での教育改善をめざしている。

【問合せ・参加申込み】

- ◆ 下記の担当宛に「第5回ALセミナー申込み」と明記し、3月15日(木)までにメールでお申込ください。
- ◆ 申込先: 首都大学東京管理部 教務課 教務企画係 担当 宮本
- ◆ メール: kyomu-kikaku@jmj.tmu.ac.jp
- ◆ 電話: 042-677-2937(直通) 内線: 1035(南大沢)

参加費無料/非常勤講師の受講も可